

★★★ <第25回知的財産翻訳検定試験【第1回独文和訳】> ★★★
《ドイツ語》

【問1】(W02010105869A1)

背景技術

電動輸送機器、特に電気自動車は、既に知られている。このような電動輸送機器用に開発されたエネルギー蓄え器の技術は進歩しているものの、大きなマーケットシェアを占めるうえでは、依然として電動輸送機器のバッテリーがネックになっている。コストおよび重量で劣る点が、新開発のリチウムイオン技術を用いたバッテリーによっても十分に克服できないため、バッテリー作動式の電動輸送機器の航続距離は、ガソリン作動式の輸送機器に比べて相変わらず限定的である。

輸送機器の航続距離に関する制約を最小限に抑えつつ、電氣的なパワートレインの利点を利用することができるようにするために、「レンジエクステンダー」のコンセプトが開発されている。これは、電氣的な駆動装置の他に内燃機関および発電機を連結させたシリーズ式のハイブリッド駆動装置である。内燃機関は、必要に応じて発電機を駆動することにより、電気自動車のバッテリーを充電する。

【問2】(DE102012111445A1)

[0002] 多くのポリマーは、熔融された状態では、熱と滞留時間とに対して極めて敏感である。すなわち、多くのポリマーは、特に高い温度においては、その化学的およびレオロジー的な性質を極めて迅速に変化させる。それと同時に、しばしば、このような熔融液は、高い動的粘度を有し、これにより、たとえば攪拌により熔融液を均質化することは困難となる。このような物質特性に基づき、この熔融液を処理するための反応器を、ポリマーが反応条件に均一にさらされるように、そして反応器および反応器に設けられた供給部および導出部に、ポリマーが沈殿するおそれのあるデッドゾーンができるだけ存在しないように、構成することが必要となる。デッドゾーンを回避するための1つの手段が、通常では反応器からのポリマー熔融液用の搬出管路に存在している遮断弁に代えて、反応器底部に設けられる底部弁を使用することにある。

[0018] 図1につき、機能原理を説明する。底部弁1.1の弁体1.2は、直接に反応器底部の壁1.3に組み込まれていて、たとえば溶接結合によって反応器底部に結合されている。反応器内室に突入するように延びる突出部は、組み込み時にできるだけ回避される。図面は、弁を、開弁された状態で示している。ポリマー溶融液1.4は、閉鎖体1.5の周囲を巡るように流れてから、弁体1.2を通過し、そして弁流出開口1.6を通じて底部弁1.1から流出し、導出管路1.7内へ流入する。

[0019] 弁の開閉のためには、閉鎖体1.5が、弁ロッド1.8によって垂直方向に動かされる。弁を閉じるためには、閉鎖体1.5の下面が弁座1.9に押圧される。このときに互いに接触し合う、閉鎖体のシール面1.5'と弁座のシール面1.9'とは、この実施形態では、円錐状に形成されている。これにより、開弁時には、これらのシール面の引き離しを容易にすることができる。弁ロッドはこの場合、機械式、電磁式またはニューマチック式に操作され得る。

【問3】(DE202010013108U1)

実用新案登録請求の範囲

[請求項1] 高効率で発熱が少なく、かつ実質的にノイズのない制御を得るためのLEDランプ用の電子制御装置であって、前記電子制御装置は、作動中に、交流電流を受け取って、直流電流に変換して複数のLED(4)に供給するために適しており、前記電子制御装置は、前記LED(4)に、最適の光学効率に相当する定格電流が供給されるように設計されている、LEDランプ用の電子制御装置。

[請求項2] 前記電子制御装置は、バックスイッチングレギュレーターまたはバックブーストスイッチングレギュレーターを有することを特徴とする、請求項1記載の電子制御装置。

[請求項3] 前記電子制御装置は、94%以上の効率、好ましくは98%以上の効率を有することを特徴とする、請求項1または2記載の電子制御装置。

[請求項4] 複数のLED(4)に供給するための前記定格電流は、10~30mA/LED、好ましくは20mA/LEDであることを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載の電子制御装置。

〔請求項5〕 前記電子制御装置は、複数のLED（4）を有する少なくとも1つの支持体（5）に接続可能であることを特徴とする、請求項1から4までのいずれか1項記載の電子制御装置。